

日本看護歴史学会 会報

日本看護
歴史学会
第84号
2025年7月10日

日本看護歴史学会第39回学術集会のご案内

日本型看護を再考する ―日本の歴史・文化をふまえた看護の展望―

日 時：2025(令和7)年8月9日(土)・10日(日)

会 場：千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス

学術集会長：春日 広美（千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科）

わが国において英米国の指導者によるナイチンゲール方式の近代看護教育が始まって140年。この間、医学の発展は目覚ましく、不治の病と言われた多くの疾患を克服してきました。このような医学の発展に呼応して、看護も治療過程を支える存在として、同様に発展してきました。その先に待っていたのは、慢性疾患患者の増加、寿命の延伸と高齢社会です。現在、看護は地域包括ケアシステムの一翼を担う役割を果たしております。

私は在宅看護学を自身の専門領域としており、家で療養していた時代まで遡って歴史をみる視点を常に意識しています。人々の暮らしの歴史をみると、その変化の激しさに驚き、また、それに適応する力強さに感嘆いたします。そして、看護の先人達が看護の理念を見失うことなく、人々に寄り添い続けてきたことに敬服いたします。今回の学術集会では、日本の社会風土、価値観、人間関係において培われた看護に焦点をあててみたいと思います。江戸・明治・昭和時代を通して、人々の暮らしと看護の変遷についてご講演をいただける先生方をお呼びいたしました。江戸時代の療養とその看病の担い手を知ることで、「日本型」の原点を探る機会になればと思います。また、昭和時代の懐かしくて温かい、家族のぬくもりを感じる家での療養を思い出していただければと思います。さらに「日本型看護」に影響を与えたであろう、GHQによる看護改革について考える機会にしたいと思います。そして、「日本型」の特筆すべき存在であり、現在の訪問看護のルーツと言える「派出看護」について、特別講演、シンポジウムを予定しております。2026年度のNHK連続テレビ小説では、「派出看護」の創設者が主人公となります。これまで「派出看護」は必ずしも一般に知られた存在ではありませんが、広く知ってもらおうチャンスと考えております。

看護の歴史を知ることは看護職の職業的アイデンティティの確立にとって重要であると思います。年に一度開催されるこの学術集会を通して、看護や医療の専門職だけでなく、ぜひ一般の方々にも興味を持っていただけることを願っております。



春日広美 学術集会長

日本看護歴史学会第39回学術集会プログラム

8月9日(土)：1日目 9:00～受付

集会長講演 「日本型看護を再考する」

演者：春日 広美（千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科）

座長：小川 典子（順天堂大学保健看護学部客員教授）



教育講演1「江戸時代にみる看病とその担い手」

演者：柳谷 慶子（東北学院大学東北文化研究所特別研究員）

座長：鈴木 紀子（天理大学医療学部看護学科）／名原 壽子（看護史研究会）

市民公開講座1「昭和期の暮らしと看病」

演者：小泉 和子（昭和の暮らし博物館館長）

座長：滝内 隆子（看護史研究会）

大村 倫子（帝京平成大学助産別科）

特別講演・市民公開講座2「派出看護の始まり—大関和の物語」

演者：田中 ひかる（歴史社会学者）

座長：平尾 真智子（看護史研究会）

教育講演2**「GHQによる日本の看護改革—現代の日本の看護体制への影響—」**

演者：田中 幸子（東京慈恵会医科大学医学部看護学科）

座長：滝内 隆子（看護史研究会）／山崎 律子（香住ヶ丘リハビリ訪問看護ステーション）

一般演題（口演・示説発表） 交流展示（展示）**理事会セッション1（戦争と看護）「戦後80年 証言と資料で伝える東京大空襲」**

演者：石橋 星志（すみだ郷土文化資料館）

座長：川島 みどり（日本赤十字看護大学）／川原 由佳里（日本赤十字看護大学）

**8月10日(日)：2日目****シンポジウム「日本型看護としての派出看護を再考する—派出看護が現代の看護にもたらしたもの—」**

シンポジスト：

平尾 真智子（看護史研究会）「看護婦規則と派出看護」

門川 由紀江（元秀明大学看護学部）「千葉県の派出看護」

加治 美幸（杏林大学保健学部看護学科）

「東京市本郷区の医療と派出看護婦会—回生看護婦会について—」

内田 美行（一般社団法人東京在宅看護協和会）「東京在宅看護協和会の前身と活動」

座長：鈴木 紀子（天理大学医療学部看護学科）

澤田 恵子（横浜市医師会聖灯看護専門学校）

理事会セッション2（研究推進委員会）「採択される投稿論文の書き方と査読コメントへの回答」

演者：川原 由佳里（日本赤十字看護大学）

座長：滝内 隆子／岡山 寧子／小川 典子

一般演題（口演発表） 交流展示（展示）**参加登録のご案内****■参加方法**

本学術集会の参加にはオンライン参加登録が必要です。以下をご確認の上、第39回学術集会のホームページよりご登録いただきますようお願いいたします。ただし、大学院生・学生は、オンライン参加登録は不要で、当日参加受付のみとなります。受付にて「学生証」を提示し、現金でお支払いください。

■事前参加登録期間 2025年 2月28日（金）～7月18日（金）まで

7月18日以降は当日受付の参加費となりますことご承知おきください。

■オンライン参加登録時のご注意

・日本看護歴史学会の会員番号をご入力いただきます。

- ・オンライン参加登録のお支払いは、クレジットカード決済に限ります。クレジットカードによるお支払いが困難な場合は、学術集会事務局宛にご相談ください。
- ・オンライン参加登録後の取消・払戻はできませんので予めご了承ください。
- ・決済完了後、「完了通知メール」が送付されます。このメールの受信をもって登録完了といたします。
- ・領収証は、「完了通知メール」に添付されています。再発行はいたしませんので、必ず保管してください。
- ・当日、受付にてスマートフォン等画面で完了通知メールをご提示いただくか、完了通知メールを印刷したものをご提出ください。参加証とお引き換えいたします。
- ・参加証は名札を兼ねております。当日、受付でお名前、ご所属をご記載ください。

■参加費

参加費	会員	非会員	大学院生	学生
事前申込	8,000円	10,000円	—	—
当日受付	10,000円	12,000円	2,000円	無料

※参加費には講演集が含まれます。別途、追加で講演集をご購入いただく場合は税込1,000円でお買い求めください。大学院生・学生の参加費には講演集は含まれません。お求めの方は、税込1,000円でご購入下さい。

問い合わせ先 第39回日本看護歴史学会学術集会事務局
千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科内
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉2丁目10番1号
E-mail: 39thjsnh@gmail.com.
日本看護歴史学会第39回学術集会ホームページ <https://www.jsnh39.com/>



理事会セッション1 「戦争と看護」

テーマ：戦後80年 証言と資料で伝える東京大空襲

講師：すみだ郷土文化資料館 学芸員 石橋 星志先生

司会：川嶋 みどり 川原 由佳里

学会では例年、学術集会において、理事会主催による「戦争と看護」に関するセッションを行っています。今年度は、すみだ郷土文化資料館学芸員の石橋星志先生に、東京大空襲についてのこれまでの研究成果と、その記録を残し、伝承する取り組みについてお話を伺います。

東京大空襲は、太平洋戦争末期の1945年3月10日、米軍により行われた東京都市部を標的とした大規模な作戦で、被災者は約310万人にもものぼるとされています。戦後80年となるこの夏、あらためて日本が経験した戦争について知り、歴史を伝える活動に学びたいと考えます。どうぞご参加ください。

理事会セッション2 研究推進委員会・特別委員会

テーマ：採択される投稿論文の書き方と査読コメントへの回答

講師：日本赤十字看護大学 川原 由佳里

研究活動推進委員会・特別委員会：滝内 隆子 岡山 寧子 小川 典子

研究活動推進委員会・特別委員会では、これまで皆様の研究力の向上を目指し5年間の研修会計画を立案し、「看護教育史」、「個人史へのアプローチ」などをテーマとして開催するなどの活動を実施してきました。

その結果、コロナによる影響を考慮しても、近年少しずつですが、本学会の学術集会における研究発表数や投稿論文数は増加傾向にあります。しかし、まだまだ学術雑誌としての日本看護歴史学会誌に掲載される論文件数が少ない状況です。その原因として歴史研究の手法に基づく論文作成や査読者からのコメントを受けて論文を修正することが困難であるなどが考えられます。

そこで、今年度は改めて学会員の皆様の研究能力の向上と学会誌掲載に向けた支援として、日本赤十字看護大学で日本看護歴史学会誌の編集委員会委員長である川原由佳里先生を講師として「採択される投稿論文の書き方と査読コメントへの回答」をテーマとした講演を開催します。とくに学術誌に掲載されるためにはどのような論文であることが必要か、また査読コメントの回答についても具体的に講演して頂きます。講演後には、教育的支援として学会誌掲載に向けたワークショップなども実施する予定にしております。一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

日本看護歴史学会総会のお知らせ

令和7年8月9日(土) 16:10~17:00 千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス 図書館棟 中講義室
※返信用はがきに必要事項をご記入の上、7月31日(木)までにご返送くださいますようお願いいたします

編集委員会からのお知らせ

日本看護歴史学会誌は年1回、3月末の発行です。投稿受付は6月1日~6月末です。8月の学術集会で発表を予定されている方は、学会発表後に、是非、論文投稿をお願いします。投稿された論文は査読とそのやり取りを通じて、できるだけ受理する方針です。

NHK 2026年度前期 連続テレビ小説「風、薫る」看護考証

主人公のモデルは大関和と鈴木雅、原作は田中ひかるで、ドラマ化にあたり、大幅に改変が行われる予定です。NHKより日本看護歴史学会に看護考証の依頼がありました。春日広美、鈴木紀子、田中幸子、名原壽子、芳賀佐和子、樋野恵子、川原由佳里のメンバーで対応しています。

日本学術会議協力学術研究団体申請にかかる情報提供の意向と調査(継続)

すでに本調査にご協力をいただきました皆様には感謝申し上げます。しかし、申請に必要な人数の確保がまだできておりません。新しく会員になられた皆様、まだ調査がお済でない皆様におかれましては、引き続きご協力をお願いいたします。この調査は全会員の皆様を対象としております。下記のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。QRコードが読み込めない、方法がわからない、URLにアクセスできない場合は、学会事務局までメール(office@jsnh.jp)でご連絡いただければと存じます。

なお、今回の調査をもちまして、デジタルデータでの調査は終了し、ご提出いただいていない皆様におかれましては、後日、郵送にて調査表をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/rq97uT30CQ>



本の紹介

- 『私的高齢者ケア論 リアルな老いから考える、新しいケアのかたち』川嶋みどり著、医学書院(定価¥2200税込)
- 『日本看護歴史学会35周年記念誌』日本看護歴史学会編(¥2000/冊、送料込)

新入会員紹介(敬称略)

※()内は会員番号 2024年11月7日~2025年6月10日入会)

小沼 華子(25001)	江口 恭子(25002)
藤田 舜(25003)	鈴木 祐子(25004)
河野 義貴(25005)	藤原えりな(25006)
竹熊 カツマタ 麻子(25008)	橋本 正子(25007)
兼澤あゆみ(25009)	西村 伸子(25010)
吉田 里奈(25011)	藤澤和歌子(25012)

※承認済2名を含まず

お知らせ

■事務局から 会員動向(2025年4月1日現在)

- | | |
|--------|---------------|
| 1. 会員数 | 256名 |
| 2. 入会者 | 21名 |
| 3. 退会者 | 14名(資格喪失者含まず) |

学会年会費:会計年度4月1日~3月31日

令和7年度の会費は、8,000円に値上げされました。お間違いのないよう納入をお願いします。2年間会費滞納の場合、退会となり会員資格を失いますので、ご注意ください。

新規・再入会手続きは本会ホームページ「入会案内」をご参照ください。

編集後記

ロシアのウクライナ侵攻の終結をみないまま、中東では爆撃の応酬状態が勃発しています。日本は人類史初の2発の原爆投下を経て迎えた終戦から80年を迎えます。被団協代表が2024年ノーベル賞を受賞しましたが、人間はまだ「戦争という問題解決」を捨てられずにいます。8月の学術集会は戦争がすべての人の健康を阻害することを心に刻む場となると思っています。(屋)

日本看護歴史学会会報 第84号

企画・編集 黒田裕子(太成学院大学)
屋宜譜美子
小田正枝

発行責任者 田中幸子(理事長)

印刷 株式会社 ソウブン・ドットコム

事務局 〒261-0014

千葉県千葉市美浜区若葉2丁目10番1号

千葉県立保健医療大学

健康科学部看護学科内

事務局 春日広美

E-mail office@jsnh.jp

学会HP <http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/>